

一般質問 (1)

一般質問の要旨

第3回定例会で、26人の議員が行った一般質問の主な内容です。各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

※詳細は、11月中旬に発行予定の会議録をご覧ください(市内各図書館・両庁舎情報公開コーナー、議会事務局にあります)。
※ホームページでも11月下旬からご覧いただけます。

凡例: 自由民主党西東京市議団(自民)、西東京市議会公明党(公明)、日本共産党西東京市議団(共産)、みんなの党西東京(みんな)、生活者ネットワーク(ネット)、民主党西東京(民主)、無所属(無所属)

児童虐待と放射能問題の深刻化！子どもの権利条例でいのちを守れ

納田 さおり (無所属)

【質問】 西東京市でも虐待件数が急増し深刻化している。児童虐待から子どもたちを具体的に救済する仕組みを備えた子どもの権利条例の策定が今こそ求められている。また放射能汚染から子どもを守る施策の展開や、災害弱者となる子どもを守るためにも条例策定は重要な下支えとなる。しかし現在、条例策定委員会すら開かれていない状況はなぜか。

【意見】 厳しい時代だからこそ、子どもの権利条例策定によってどんな子どもも一人一人の存在価値が守られているという安心感を与えたい。

【質問】 自治会や町内会が形成されにくい地域であるからこそ、長年コミュニティの核として市民の大きなよりどころとなってきた公民館の存在価値は大きい。防災拠点としても有効であり、多面的役割を果たす施設として機能強化すべきだ。

【答弁】 公民館は地域の人々の必要なもの確認を適時に行い、その結果を教育委員会と協議して安全対策に取り組んでいる。体育館の天井等の大規模な非構造物の耐震化については、安全確認を優先し、補助制度の活用を視野に入れ実施したい。

【質問】 地域主権改革の一環として、保育所の待機児童問題解消のため、平成24年から2年間、待機児童が100人を超え、用地確保が難しい東京都など都市部に限り認可保育所の面積基準を独自に設定できるという方針が決定し、7都道府県20市15区の中に西東京市が該当した。今後の対応は。

【答弁】 本市も平成26年までの特例措置として保育園の居室面積を緩和することが

学校は地域の防災の拠点!! 安心できる環境の整備を

桐山 ひとみ (無所属)

【質問】 待機児童解消につながる。しかし、待機児童解消につながる反面、保育環境の低下を懸念する声もあることから、今後東京都からの詳細な情報の提供を受けながら慎重に検討する。

【質問】 東日本大震災を受け、学校施設の非構造物、すなわち校舎や体育館の天井や照明、タイルや窓ガラスなどの外装材の安全確認は。

【答弁】 本市では従前から各学校において目視等で修繕



児童館の「幼児のつどい」

安全に子どもが育ち学べる街へ 災害時の協力体制は平時から!

石塚 真知子 (民主)

【質問】 子どもの育ちの環境について。給食食材の安全性はどう考えているのか。

【答弁】 出荷制限の対象とならず、市場に流通している農産物等については使用しても問題ないと考えている。

【意見】 産地の公表等、保護

【質問】 子どもの育ちの環境を整えていただきたい。

【答弁】 防災地域づくりについて。避難所でのペットの対応は。

【意見】 緊急時、ペットを飼

高齢者の見守り策、自転車事故防止対策を強化せよ!!

石田 しこう (みんな)

【質問】 高年齢者見守り策の強化を!!

【答弁】 当市では孤独死や買い物弱者を防ぐ取り組みはあるが、外出先で急に倒れた場合の対応策がない。見守りキーホルダーを高年齢者に配布している大田区の事例を参考に当市の見守り策を強化すべき。

【質問】 大田区では想定以上の反響と効果があると聞いている。当市でも調査研究

【質問】 自転車事故防止対策を強化せよ!!

【答弁】 自転車事故は市内交通事故の半数近くを占める。事故防止のため自転車免許制度の導入と自転車専用レーンの設置をすべき。

【質問】 小中学校の安全教室の実施によりルールの徹底・マナーアップを図りたい。自転車専用レーンについては田無警察署と協議を行いたい。

【質問】 住宅用太陽光発電システム設置助成の拡充を!!

【答弁】 当市の助成制度の予算は約280万円とわずかであるが、応募件数の実績はどうなっているか。

【答弁】 21年度は73件、22年度は100件と増えて予算の執行率は99.7%であった。

【意見】 自然エネルギーの需要は今後も伸びる。来年度から数年間は予算を大幅に増やし重点施策とすべき。

強い決意で公共施設の適正配置と人員削減と市民サービスの両立を

坂井 かずひこ (民主)

【質問】 公共施設の適正配置等に関する基本計画への取り組みを進める上で、市長の決意を問う。

【答弁】 新市建設計画にも「地域で重複する公共施設については市域全体のバランスを考慮し統合整備して

いく」との方向性が示されており、公共施設の適正配置は、合併・新市誕生以来の課題であると認識している。積極的な取り組みを鋭意進め、今後とも強い決意を持って臨んでいく。

【質問】 人員削減をしていく

【質問】 被災地支援策として実施している陸前高田市への復興支援ボランティア派遣は、とても有意義である。10月以降も継続すべきではないか。

【答弁】 今後どのような支援ができるのか検討したい。

【質問】 被災地支援策として実施している陸前高田市への復興支援ボランティア派遣は、とても有意義である。10月以降も継続すべきではないか。

【答弁】 隣接自治体と相互応援協定を締結し、避難所を融通し合う体制ができた。防災ガイド・マップ等を修正する機会に検討する。

【質問】 被災地支援策として実施している陸前高田市への復興支援ボランティア派遣は、とても有意義である。10月以降も継続すべきではないか。

【答弁】 隣接自治体と相互応援協定を締結し、避難所を融通し合う体制ができた。防災ガイド・マップ等を修正する機会に検討する。

【質問】 被災地支援策として実施している陸前高田市への復興支援ボランティア派遣は、とても有意義である。10月以降も継続すべきではないか。

【答弁】 隣接自治体と相互応援協定を締結し、避難所を融通し合う体制ができた。防災ガイド・マップ等を修正する機会に検討する。

被災地支援を継続せよ! 教育長不在は、教育行政の放棄だ!

森田 いさお (みんな)

【質問】 被災地支援策として実施している陸前高田市への復興支援ボランティア派遣は、とても有意義である。10月以降も継続すべきではないか。

【答弁】 今後どのような支援ができるのか検討したい。

【質問】 被災地支援策として実施している陸前高田市への復興支援ボランティア派遣は、とても有意義である。10月以降も継続すべきではないか。

【答弁】 隣接自治体と相互応援協定を締結し、避難所を融通し合う体制ができた。防災ガイド・マップ等を修正する機会に検討する。

【質問】 被災地支援策として実施している陸前高田市への復興支援ボランティア派遣は、とても有意義である。10月以降も継続すべきではないか。

【答弁】 隣接自治体と相互応援協定を締結し、避難所を融通し合う体制ができた。防災ガイド・マップ等を修正する機会に検討する。

【質問】 被災地支援策として実施している陸前高田市への復興支援ボランティア派遣は、とても有意義である。10月以降も継続すべきではないか。

【答弁】 隣接自治体と相互応援協定を締結し、避難所を融通し合う体制ができた。防災ガイド・マップ等を修正する機会に検討する。

【意見】 教科書採択に関して一つの教科書の審議時間は、わずか10分程度。教育委員会は、慎重に審議をするべきだ。また採択資料作成委員会が推薦した教科書は、100%採択されたが、違和感を覚える。市民意見が十分反映されているとは言えない。



柳沢小学校での総合防災訓練の様子

【質問】 被災地支援策として実施している陸前高田市への復興支援ボランティア派遣は、とても有意義である。10月以降も継続すべきではないか。

【答弁】 今後どのような支援ができるのか検討したい。

【質問】 被災地支援策として実施している陸前高田市への復興支援ボランティア派遣は、とても有意義である。10月以降も継続すべきではないか。

【答弁】 隣接自治体と相互応援協定を締結し、避難所を融通し合う体制ができた。防災ガイド・マップ等を修正する機会に検討する。

【質問】 被災地支援策として実施している陸前高田市への復興支援ボランティア派遣は、とても有意義である。10月以降も継続すべきではないか。

【答弁】 隣接自治体と相互応援協定を締結し、避難所を融通し合う体制ができた。防災ガイド・マップ等を修正する機会に検討する。

【意見】 教科書採択に関して一つの教科書の審議時間は、わずか10分程度。教育委員会は、慎重に審議をするべきだ。また採択資料作成委員会が推薦した教科書は、100%採択されたが、違和感を覚える。市民意見が十分反映されているとは言えない。